



●内側（三つ折り）イメージ



山梨県  
野村、著  
377,939.91  
の約78%  
た自然条件  
たが、中  
全の

種別	80円郵便切手 1シート5枚
① 富士山と山梨県産ブドウ	富士山と山梨県産ブドウ(ブドウ)は山梨県を代表する。富士山は日本を代表する山であり、その標高は3,776mで日本の最高峰である。山梨県は富士山の裾野にあり、その気候はブドウ栽培に最適である。1952年(昭和27年)に富士山と山梨県産ブドウの切手が発行された。この切手は、山梨県の観光資源をアピールし、ブドウの産地としての地位を確立させた。1997年(平成9年)に富士山と山梨県産ブドウの切手が再発行された。この切手は、山梨県の観光資源をアピールし、ブドウの産地としての地位を確立させた。1997年(平成9年)に富士山と山梨県産ブドウの切手が再発行された。この切手は、山梨県の観光資源をアピールし、ブドウの産地としての地位を確立させた。
② 青伝説	日本一の産地、青伝説の主産「青伝説」はその旨、皮肉の味が特徴的である。この切手は、青伝説の産地としての地位を確立させた。
③ 西沢渓谷	西沢渓谷は、秩父多摩甲斐国立公園内にあり、秩父の自然美を堪能できる。この切手は、西沢渓谷の産地としての地位を確立させた。
④ 身延山の松と五重塔	身延山五重塔は、日本最大の石造五重塔である。この切手は、身延山の産地としての地位を確立させた。
⑤ 栗	「産地の物語」(木箱の産地)と題して、山梨県産の栗の産地としての地位を確立させた。この切手は、栗の産地としての地位を確立させた。
⑥ 富士山	富士山は、日本を代表する山であり、その標高は3,776mで日本の最高峰である。この切手は、富士山の産地としての地位を確立させた。
⑦ 甲府市	甲府市は、山梨県の中心地であり、その歴史は古くからある。この切手は、甲府市の産地としての地位を確立させた。
⑧ 山梨県	山梨県は、日本を代表する山梨県であり、その歴史は古くからある。この切手は、山梨県の産地としての地位を確立させた。
⑨ 身延町	身延町は、山梨県の中心地であり、その歴史は古くからある。この切手は、身延町の産地としての地位を確立させた。
⑩ 大月市	大月市は、山梨県の中心地であり、その歴史は古くからある。この切手は、大月市の産地としての地位を確立させた。
⑪ 丸山 (切手デザイナー)	丸山は、山梨県の中心地であり、その歴史は古くからある。この切手は、丸山の産地としての地位を確立させた。
発行日	2013年(平成25年)11月15日
紙質	グレイブ6色
年賀切手	① 縦38.0mm×横50.0mm ②～⑩ 縦30.5mm×横25.0mm
小切手切手	① 縦39.0mm×横23.0mm ②～⑩ 縦33.5mm×横28.0mm
シート切手	縦178.0mm×横93.5mm



### 山梨県

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積はわが国の総面積377,939.91 ㎢(平成24年10月1日現在)の約100分の1にあたり、県土の約78%を森林が占めており、東京圏に近い有利な立地条件や変化に富んだ自然条件を活かしながら、農業者のたゆまぬ努力と高度な生産技術の確立などにより、果樹、水産、野菜、花き、畜産などの特色ある産地を形成しています。中でも、果樹は農業生産額の5割以上を占め、ブドウ、モモ、スモモは、全国一の生産量を誇っています。



**山梨風草**  
青伝説は富士山と武田徳川で育つ山梨を象徴しており、中央のマークは、3つの人文字で山梨の山を形どることで、和と地方を表現しています。(昭和41年10月1日告示)



**山梨県の鳥(ウグイス)**  
春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれています。県にも富士山にも生息し、秋の鳥のひなを育てるというやさしい習慣も残っています。このことから、「鳴鶴と恋鳥」を表現しています。(昭和38年6月制定)



**山梨県の花(アジダカラ)**  
4月から5月にかけて、富士山の裾野を彩ります。木はあまり大きくないが、花びらも小型で下向きに開花します。まばゆい富士山の輝きに添えて、つつましくやかに咲く花は、「和と恋鶴」を表現しています。(昭和29年制定)

### 5百円ハイカラー・クラッド貨幣

ハイカラー・クラッド貨幣とは、2種類の異なる金属を組み合わせたハイカラー・クラッドと、金と銀を異なる種類の合金でつくったハイカラー・クラッドの2種類があります。

(山梨県) 富士山と山梨県産ブドウ

○ 富士山と山梨県産ブドウ(ブドウ)をデザインしています。富士山は、日本を代表する山であり、その標高は3,776mで日本の最高峰である。古くから産物の産地として知られ、また、青伝説の産地としての地位を確立させた。1952年(昭和27年)に富士山と山梨県産ブドウの切手が発行された。この切手は、山梨県の観光資源をアピールし、ブドウの産地としての地位を確立させた。1997年(平成9年)に富士山と山梨県産ブドウの切手が再発行された。この切手は、山梨県の観光資源をアピールし、ブドウの産地としての地位を確立させた。



5百円ハイカラー・クラッド貨幣の概要  
(各製造所別枚数)  
富士山 1,197枚  
ブドウ 29,337枚  
その他の特徴 異形何れも、特徴的

5百円ハイカラー・クラッド貨幣の概要

製造	5百円
素材	銅・アルミニウム合金、白銅及び鋼
直径	25.0mm、厚さ1.5mm、重量12.4g、マーク12.4g
発行	1997年
流通	2013年11月15日
その他の特徴	異形何れも、特徴的